

| 学年 | コース | 教科 | 科目 | 類型 | 必・選 | 単位数 |
|----|------|------|------|----|-----|-----|
| 2 | 特進一貫 | 地歴公民 | 世界史B | 文系 | 必修 | 3 |

講座のねらい

2年次では、より発展的な内容を学んでいきます。世界史の大きな枠組みや流れ、歴史的事象がどのようなものであったかを理解していきます。扱う時代は近世、近代に入り、地域は、中国、イスラム、ヨーロッパ、アメリカなど多岐にわたります。近現代の国家の発展、複雑な国際関係、政治・経済・文化面の新たな展開に関して、確かな理解と知識の定着を目指します。

使用教材及び問題集

教科書 『世界史B』（東京書籍）
 学習ノート 『要点マスター 世界史B整理ノート』（東京書籍）
 資料集 『最新世界史図説 タペストリー』（帝国書院）
 問題集 『総合マスター 世界史B』（浜島書店）

授業の内容と進め方

基本的に1年次と同様、教科書の著述に沿って授業をすすめていきます。資料集や様々な教材を用い、1年次に比べ、より内容を深め、かつ進捗をはやめた授業を展開します。いくつかの項目についてはプリントや視聴覚教材など用い、興味、関心がわくよう工夫します。定期考査や校外模試の対策として、小テストを行うことがあります。授業中は、常に机の上に教科書と資料集を開いて集中し、授業と並行して視覚的な面からの知識定着をはかることが大切です。

講座の到達目標

- 1 歴史の知識を多く獲得することで、社会に対する理解と興味関心を広げ、深い考察力を身につけます。
- 2 中国、イスラム、ヨーロッパ、アメリカとさまざまな地域の歴史を学習することで、知識の定着とともに、その文化圏の持つ特色や、時代を経て諸地域が発展していく様子を理解し、現代社会に対する理解をも深めます。
- 3 入試に対応できるよう正確な知識の積み上げを行います。

評価の観点・テスト・課題など

評価は、定期考査の得点を主資料とし、授業態度、課題などの提出物、小テストなどで総合的に行います。ノート提出や小テストは適宜行います。定期考査は、教科書を中心に授業で学習した内容を出題します。入試を念頭においた発展的内容や入試問題も出題することがあります。
 日々の努力が入試の場面で力となりますので、定期考査では高得点をめざして学習に励んで下さい。

備考

生徒の学習状況、理解の度合いなどを考慮し、講習などを行う場合があります。

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

- 第 1 0 章 東アジア世界の変容とモンゴル帝国
 - 1 唐の崩壊後の東アジア
 - 2 宋代の新展開－都市の時代のおとずれ
 - 3 ユーラシア大陸をおおうモンゴル帝国
 - 4 元朝の成立
- 第 1 1 章 海域世界の発展
 - 1 三つの海域世界の成立
 - 2 海域世界の拡大
 - 3 海と陸の結合－東南アジア世界の発展
- 第 1 2 章 ユーラシア諸帝国の繁栄
 - 1 イランと中央アジアの繁光
 - 2 東地中海の強国－オスマン帝国
 - 3 インドの大国－ムガル帝国
 - 4 明と東アジア世界
 - 5 清と東アジア世界

2 学期 学習計画および学習内容

- 第 1 3 章 大交易時代
 - 1 海洋帝国の出現
 - 2 大交易時代の世界
- 第 1 4 章 近世のヨーロッパ
 - 1 主権国家群の形成と宗教改革
 - 2 オランダの繁栄と英仏の追いあげ
 - 3 18世紀のヨーロッパと啓蒙専制国家
 - 4 近世ヨーロッパの社会と文化
- 第 1 5 章 欧米における工業化と国民国家の形成
 - 1 激化する経済覇権抗争
 - 2 工業化と社会問題の発生
 - 3 合衆国とラテンアメリカ諸国の独立
 - 4 フランス革命とウィーン体制

3 学期 学習計画および学習内容

- 第 1 5 章 欧米における工業化と国民国家の形成
 - 5 社会変革の夢－新しい革命の波
- 第 1 6 章 産業資本主義の発展と帝国主義
 - 1 欧米世界の秩序再編
 - 2 欧米の経済発展と社会・文化の変容
 - 3 帝国主義と世界秩序
- 第 1 7 章 アジア諸地域の変革運動
 - 1 西アジアの改革運動
 - 2 南アジア・東南アジアの植民地化と民族運動の黎明
 - 3 清の動揺と変貌する東アジア